INFORMATION MAGAZINE THE JOURNAL

ザ・ジャーナル!!

Vol.10
No.2

National Hospital Organization Okayama Medical Center

やさしさ便り～岡山医療センターの今

地域災害拠点病院
地域医療支援病院
地域がん診療連携拠点病院
総合周産期母子医療センター

岡山医療センターの理念

今、あなたに、信頼される病院
－病める人への献身、医の倫理に基づく医療への精進と貢献－

1：医学的根拠に基づいた高度で良質な医療を提供します
2：病める人の権利と意思を尊重した、安心安全な医療を提供します
3：地域の中核病院として医療連携を通じ、地域社会に積極的に貢献します
4：教育研修病院として医師、看護師等医療に従事する人材育成に努めます
5：医学の進歩に貢献するために、臨床研究を積極的に行います
6：職員が仕事に誇りと充実感を感じられる病院作りをめざします
7：上記6項目を実現し維持するため、健全な病院運営に努めます

CONTENTS

2 特集 診療科等紹介
6 がん市民公開講座
職員宿泊研修
7 医療安全レポート
リソースナース室通信
8 初期研修医通信
9 金川病院だより
10 看護助産学校通信
11 健康レシピ
12 TOPICS!
臨床研究推進室便り
編集後記

携帯サイトを開設しました!

表紙写真：2015.7.10　職員宿泊研修

心臓血管外科

心臓血管外科の紹介、最近の手術治療の紹介
― 充実した新体制 ―

日本国民の平均寿命が延び、世界有数の長寿国となっています。元気で快適な生活を続けていくことが理想です。現在、心疾患関連での死亡率は、癌に次いで2番目となっています。体調が悪くていきなり心臓血管外科に来る人はありません。多くの場合は、内科の先生に診てもらい、心臓に問題がありそうだということで、次に循環器内科に診てもらいます。多くの場合、お薬やカテーテルで治療をしてもらっています。それで治らない場合には、当科の出番となります。

心臓血管外科の診療範囲は、心臓疾患の外科的治療、脈管疾患の診断と治療にあたっています。心臓疾患、脈管疾患については、下記に詳しく述べさせていただきます。

当院心臓血管外科は、5名のスタッフとローテーションの研修医による診療体制となっています。スタッフは岡田、中井、徳永、横田、林田の5名で、全員であらゆる領域の患者様を担当し診療にあたっています。重症・救急患者様に対しても手術が必要となれば手術を行っています。特に緊急手術に際しては循環器科、麻酔科、中央手術部、救急部の諸先生、各スタッフの絶大なる協力のもとに夜間、土曜・日曜を問わず行われる、24時間365日の体制ができています。

●心臓疾患

心臓弁膜症の手術：弁膜症の手術の主流派は弁置換術でありましたが、最近は、特に僧房弁においては、自己弁を温存する弁形成術が行われるようになってきました。大動脈弁においては生体弁の使用が増えてきました。生体弁置換術後はワーファリンによる抗凝固療法が不要となってきます。これらの手術術式を選択することで術後の内服薬剤をずいぶん減らすことができています。

冠動脈バイパス手術：標準的な人工心肺を使用した冠動脈バイパス手術から、低侵襲の人工心肺を使用しないオフポンプ冠動脈バイパス術が行われるようになってきました。当院でも標準的な人工心肺を使用手術が困難だと思われる症例に対してはこの術式を採用しています。

●脈管疾患

大血管手術：胸部大動脈瘤、胸部大動脈解離に対しても脳保護の進歩、人工血管の改良により安全に行われるようになってきました。救急体制が確立されて、緊急手術症例も増えてきています。手術は開胸や開腹を伴う人工血管置換術と、カテーテル治療としてのステントグラフト挿入術とがあります。いずれの手術にも利点と欠点があります。患者さん個々に合った手技を患者さんと相談しながら、また院内での合同会議で治療方針を決めていきます。

手術風景

写真：胸部大動脈瘤（左）
ステントグラフト後（右）

末梢血管手術：殆どの疾患が閉塞性動脈硬化症です。閉塞性動脈硬化症は、徐々に血流が低下し、血行障害をきたす疾患です。患部が冷たくなったり痛くなったりします。最悪の場合は血流障害のため壊死に陥り、切断を余儀なくされることもある疾患です。これらを未然に防ぐために、血行再建がなされています。血行再建は手術によるバイパス術と、カテーテルによる血管形成術があります。いずれの手術にも利点と欠点があります。患者さん個々に合った手技を患者さんと相談しながら、また院内での合同会議で治療方針を決めていきます。クリニカルパスの導入により質が高い医療と短期間の入院がなされています。

下肢静脈瘤手術：下肢の静脈瘤は、静脈が嚢状、円筒状に異常拡張し、蛇行を伴い表在静脈が腫れてくる病気です。足の皮膚の変化、筋肉疲労から始まり、足のうっ滞、うっ滞性皮膚炎、色素沈着、皮膚硬化、ひどくなると難治性の皮膚潰瘍をきたす病気です。侵襲の少ない麻酔、手術方法を選択しており、日帰り手術もしくは２～３日入院が可能となっています。

以上代表的な疾患と治療について説明しましたが、その他色々な病気があります。

心臓、血管領域でお困りの患者様がおられましたら気軽に当院地域連携室もしくは当科スタッフに直接ご連絡ください。

外科スタッフ一同

循環器科

循環器科

循環器科は心臓・血管のいろいろな病気に対して内科的に診断・治療を行っている診療科です。ただ、カテーテル検査・治療やペースメーカ植え込みなどを行っているので、内科でありながら、外科的な側面もあると言えます。

当院の循環器科の診療のセールスポイントとして3つのことが挙げられます。

1つ目は、総合病院の循環器科であると言うことです。

人体は心臓・血管だけで構成されるわけではありません。脳、胃腸、肝臓、腎臓、泌尿器、骨・関節などがあり、また心臓や血管の中には血液やホルモンなどのいろいろな物質が流れています。つまり人体は様々な構成部品からできている精密機械のようなもので、これらが互いにうまく機能することで健康な人間生活が送れると言えるでしょう。人体のどこかの構成部分に不具合が現れると、それは他の部分に不具合を生じさせ、互いに悪影響を及ぼします。

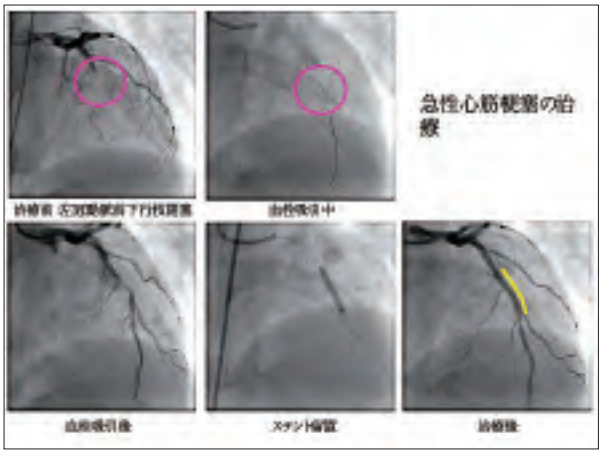
循環器科の患者さんには心臓・血管系のみを患っている方はもちろんのこと、糖尿病、高血圧、脳卒中をはじめとした脳脊髄の病気、腎臓病や腎不全による透析を行っている患者さん、喘息や肺気腫などの肺の病気、リンパ腫・白血病、各種貧血などの血液の病気、胃腸・肝臓・胆嚢胆管等のお腹の病気、前立腺肥大などの泌尿器の病気、骨・関節などの整形外科的な病気のほか、膠原病、そしていろんな臓器の癌などあらゆる合併症を有する患者さんがいらっしゃいます。

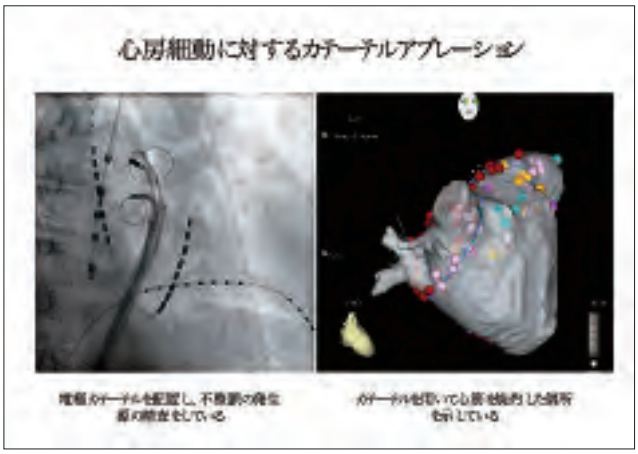
つまり、循環器科では心臓・血管はもちろんのこと、総合病院である特性を生かして院内の他の診療科と連携し、各科専門医が合同でチームとして診療を行うことで、いろいろな合併症を持つ患者さんにも同一施設で、外来入院を問わず、診療が可能であります。この点は心臓病の専門医療施設と大きく異なるところであります。

2つ目は、ほぼあらゆる成人の心臓血管疾患の診療に対応していることです。

入院患者さんの疾患構成も心臓病の主な部分を占める心筋梗塞・狭心症などの冠動脈疾患、不整脈、心不全はもとより、肺高血圧症、大血管・末梢血管疾患、心臓弁膜症・心内膜炎、心筋症・心筋炎、当科患者に多い睡眠時無呼吸症候群、先天性心疾患など多彩です。

特に難病である肺動脈性肺高血圧症、慢性血栓塞栓性肺高血圧症などの肺高血圧症については全国でも有数の診療

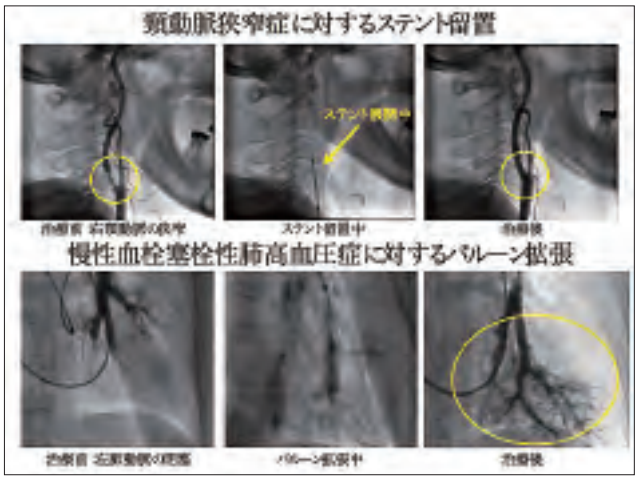


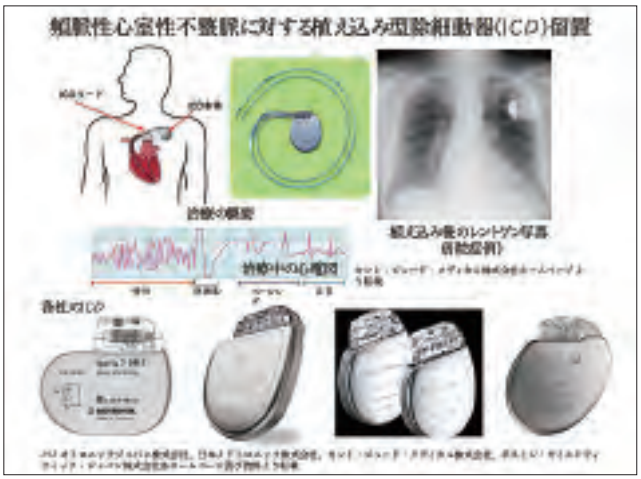


実績があり、北は北海道、南は徳之島まで全国から患者さんがいらっしゃいます。また、当院での肺高血圧症の日常診療に対して全国・海外から他施設の先生・コメディカルの皆さんが多数見学・研修に来られています。

3つ目は、最近は循環器科を有する施設ではどこでも心臓リハビリテーションを行っていますが、中でも当院は全国で15施設しかない日本心臓リハビリテーション学会認定心臓リハビリテーション研修施設の一つであることです。リハビリテーション科の西崎医師が専任医師として、質の高い心臓リハビリテーションにあたっており、当科や心臓血管外科で治療を行った患者さんの速やかな回復や社会復帰、退院後の生活の質の向上に貢献しています。

心臓・血管のいろいろな病気に対してお困りの方は、ぜひ循環器科までご相談ください。





循環器科スタッフ一同

医療の現場から

センターNEWS

OKAYAMA MEDICAL CENTER

第10回がん市民公開講座「みみ・はな・のどのがん」

■耳鼻咽喉科　医長　丸中　秀格

7月4日、市民公開講座（於岡山国際交流センター）で、「みみ・はな・のどのがん」と題して頭頸部癌に対して一般的な症状・治療についてお話ししました。頭頸部癌は鎖骨から上の脳と眼球周辺組織を取り除いた比較的狭い範囲ではあるものの、聴器癌の様に極めて稀な悪性腫瘍から、比較的ありふれた咽頭癌・喉頭癌・甲状腺癌などの多種多様な悪性腫瘍が発生する部位です。また聴覚・嗅覚・味覚といった感覚器でもあり、嚥下や発声といった日常生活を送る上で非常に重要な機能を有している部位でもあるため、治療選択上、機能温存が重要になってくることも多い部位です。残念ながら機能が残せなかったときの代替となる方法についてもお話しました。原因が不明なものも多いですが、中咽頭癌とパピローマウイルスや、喫煙と喉頭癌、飲酒と下咽頭癌など発症原因がある程度はっきりしているものもあり、原因を避ける事により発症率を下げられると言った予防のお話しもさせて頂きました。

宿泊研修を実施しました!

岡山医療センターでは、毎年、新採用者及び転入者を対象として1泊2日の宿泊研修を開催しています。

例年は年3回開催していますが、今年度は4回開催しました。平成16年に第1回目を開催してから通算で第53回を数えるまでになりました。

この研修は、新たに岡山医療センターの仲間になられた方の接遇研修となっています。

研修の目的として、

1.接遇に関する事例をもとにグループワークを行うことで、病院の理念について考え、個々の行動目標が明確になる。

2.職場を離れて宿泊研修を行うことでリフレッシュして職場の活性化につなげる。

3.職種をこえた、仲間づくりができる。

の3つを掲げています。

1回の研修に約50名が参加し、6グループに分かれて接遇をテーマとした事例について、グループ毎に検討し、検討結果について発表、ロールプレイを行います。

事例についてみんなで検討し色々な意見を出し合うことで、問題点を見つける力、対策方法を見つける力の向上、また、みんなの前で発表することで、相手に物事を分かりやすく伝える力の向上も目指しています。

研修のスタート時は、静かな雰囲気だった研修生も時間が経つにつれ、笑い声や活発な意見が聞こえるようになり、また、発表の時は、役になりきって演じていました。

研修終了後のアンケートでは

・他部署の話を聞くことがなかなか無いので勉強になった。
・全員で協力して意見交換ができて良かった。
・これからお互いに連携していい医療を提供していきたい。
・信頼されるよう自分の行動を見つめなおしていきたい。

といった概ね好評であったとの意見をいただきましたが、中には改善すべき点についての意見もありました。

今後、この研修が更により良いものとなるよう、研修生の期待に添えるように準備、運営をし、60回、70回と続いていくように計画していきたいと思います。

職員班長　Y.M

医療安全レポート

ーセーフティーマネージャー会議よりー

お薬の保管方法（基礎知識）

今回は、お薬の保管のポイントについてお話しします。「冷蔵庫に入れておけば大丈夫」というわけではありません。

保管のポイント１（室温保存）

お薬は、日光・温度・湿気等により色が変わったり、効果が落ちることがあります。

- 直接日光あたる窓際などには置かない。
- 暖房器具の近くには置かない。
- 薬を車の中に置いたままにしない。
- 台所など水回りに置かない。

保管のポイント２（冷所保存）

冷所保管のお薬は、冷蔵庫の扉側に保管しましょう。

- 主に水薬，目薬，坐薬，成長ホルモン剤，未使用のインスリン製剤など

保管のポイント３

シートでもらったお薬は、そのままの状態で保管しましょう。
他の容器に入れて管理したい場合は、病院又は調剤薬局の薬剤師にご相談ください。

保管のポイント４

お薬の袋には、調剤された日にちが記載されています。
一緒に保管しておきましょう。

保管のポイント５

お薬は、子どもの手の届かない・見えない所に保管しましょう。
子どもは何でも口に入れてしまいます。

リソースナース室通信 Vol.23

前年度、がん看護専門看護師を取得しリソースナース室のメンバーになりました。

きっかけは、私自身がんの疑いがあるといわれた経験をし、複雑な精神状況に陥る体験をしたことでした。またある患者との出会いで、『自分らしく生ききる』ことの大切さを学びました。これらのことから私自身が専門的な知識・技術を身につけ、よりがん患者様やご家族に寄り添っていきたいと思い、チャレンジしたのです。

現在は、緩和ケア専従看護師として、外来・病棟問わず、がん患者様・ご家族からの相談を受け、苦痛なく過ごして頂けるように、スタッフや緩和ケアチームのメンバーと共に関わっています。

今後も『苦痛なく、自分らしくいきる』という事をテーマに、患者様・ご家族のご支援に携わっていき、スタッフのサポートや育成に努めていきたいと思っております。

どうか、今後もいつでも、お気軽に声をかけて下さい。

2014年
がん看護専門看護師取得
緩和ケア専従看護師長
山下睦子

初期研修医通信

金曜朝は、プラカンから始まる！

今回は初期研修医が自主的に行っている勉強会について実際担当されている先生方に紹介いただきました。

プラカンの紹介

■初期研修医２年　松浦宏昌

初期研修医２年目の松浦宏昌と申します。大役ではございますが今年度の研修医のまとめ役としての総括とプラカンの担当をさせていただいております。今回プラカンについて説明させていただける機会を頂きましたので簡単ではございますが紹介致します。プラカンとはプライマリーカンファレンスの略であり、金曜日の朝7時30分から研修医が中心となり行っている勉強会になります。毎回発表担当として１年目と２年目の２人１組でテーマを決めて行っています。テーマとしては日々の診療で経験した症例や興味のあることについて検討しまとめて発表しています。また研修医だけでなく、指導医として上級医の先生方にも毎回参加していただきより専門的な御指導をしていただいております。毎週金曜日の朝は早くて正直辛いこともありますが、プラカンが充実した楽しいものになるよう研修医一同で協力して行っています。以上簡潔ではございますが、プラカンの紹介とさせていただきます。

実際担当してみて

■初期研修医１年　難波貴弘

初期研修医１年目の難波貴弘です。私たち初期研修医はPrimary Conference、略してプラカンでは病棟での基本的な業務といったテーマから、当直など救急外来で遭遇する様々な状況に対してどのように考えて対処すればよいかといったテーマまで幅広く学ばせて頂いています。

僕自身は6月に「熱中症」について、9月に「小児の急性呼吸器疾患」について発表させて頂きました。発表に際しては、研修医だからこそ気になる基本的な事柄はもちろん、テーマごとにそれぞれ専門のスタッフの先生方に相談させて頂きより深い内容まで把握した上で準備を進めました。発表という形式をとることで準備は大変ですが、聞き手からの質問によって自分では気づかなかった着眼点に気づくことができました。

プラカンを続けていくことで総合的な診療力を伸ばし、少しでもより良い医療を患者様に提供出来るように研修医一同団結して頑張っていきます。これからもどうかよろしくお願い致します。

金川病院だより

■金川病院　リハビリテーション科
安藤可織　横内圭吾

当院では御津を中心とした地域住民の皆様に対し院内にて健康教室を開催しております。平成24年6月の第1回目を始め、現在までに21回開催し好評をいただいております。

当院では運営方針の一つに「職員と地域の人々の絆を大切にする病院を目指します」を掲げており、地域の皆様との更なる繋がりの構築が重要であると考えています。

そこで、今年の7月より「出張教室」を企画しました。

従来の「来客型」ではなく、地域の公民館やサロンなどに出向く「出張型」が特徴となっています。

テーマは地域住民の皆様の御要望に合わせます。「健康体操」「薬」「食事」なんでも構いません。

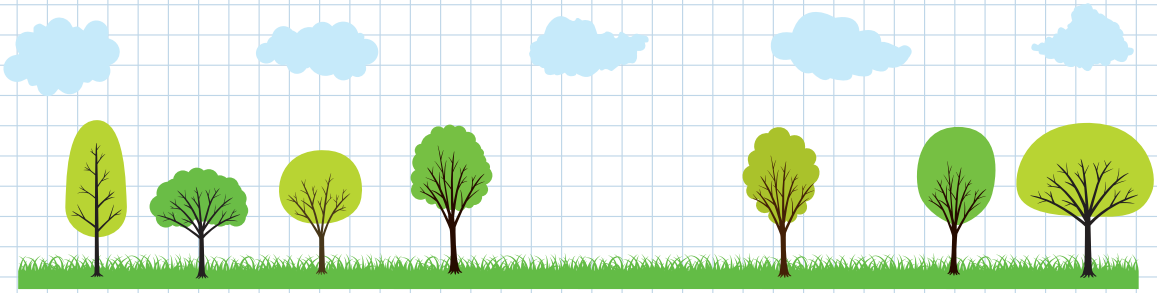
また、平日だけでなく、土日・祝日も可能な限り対応いたします。

出張する地域は御津を主と考えていますが、それ以外の地域もできる限り相談に応じたいと考えています。

右記にパンフレットを掲載していますので、ご興味のおありの方は金川病院リハビリテーション科まで気軽にご相談ください。

加えて、フラダンス出張も行っています。月1回のペースで老人保健施設等や御津地域の集会にフラダンス出張を行っています。約30分間のステージではありますが、観るだけでなく、一緒に踊ったりもします。こちらも、金川病院のリハビリテーション科までご相談下さい。

(電話番号：0867-24-0012)



看護助産学校通信 Vol.22

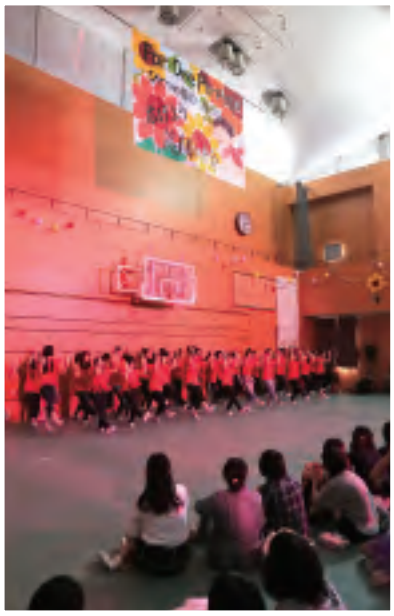
第16回　学生祭

看護学科　教員　伊東好子

9月26日（土）第16回学生祭が開催されました。前日まで天候がすぐれず気がかりでしたが、当日は爽やかな秋晴れとなり大勢の方に足を運んでいただきました。

今年の学生祭のテーマはfor one purpose　一つの目的に向かって　～広げよう笑顔の輪～でした。2年生の学生祭リーダーを中心に学校飾りから企画運営まで各担当や学年が連携しながら準備を進め、「笑顔」の輪が増えていくよう努めました。地域の皆様や病院職員の皆様に多くのご理解とご協力を頂き、物品バザーや食品バザー、パン販売やビーズ販売、献血や募金、ステージ発表など多くの催しを行うことができました。看護学校ならではのプログラムである技術体験では、メタボリックシンドロームの診断指標にそった健康チェックや、風邪の流行を前に感染予防のための手洗いの方法やマスク着用についての公開講座を行いました。進路相談にも高校生や社会人の方にたくさんご参加いただき、有意義な時間を過ごしていただけたのではないかと考えております。学生は、来て下さったすべての方々への感謝の気持ちと、思い出に残る学生祭となるよう「笑顔」でのおもてなしを心がけたつもりですが、いかがだったでしょうか。

学生祭が終了し、学生は大きな行事を終えての安堵感や、達成感を得ることができました。事前準備や各担当間での連携の重要性を痛感し、これからの学校生活や臨地実習につながる学びを得ることができました。今回の課題を具体的に明確化し、次年度の学生祭につなげていきたいと思います。地域の皆様並びに病院職員の皆様に心よりお礼申しあげます。今後とも皆様のご支援ご鞭撻をよろしくお願いいたします。



健康レシピ Healthy recipe

栄養管理室 PRESENTS!

栄養満点！ヘルシーメニュー

お餅を使ったかんたん栗おこわ風

旬の食材『栗』

栗は縄文時代の遺跡からも発見されるほど、日本人にとって古くから身近な食材です。

京都の丹波地方では平安時代から栗が栽培され、朝廷や幕府に献上されるようになりました。今でも丹波の栗は非常に高価で、品質も非常に優れています。

【材料】（4人分）

- 米　2合
- むき栗　20粒程度
- 切り餅　1個
- 酒　大さじ1 ｝A
- めんつゆ　大さじ1 ｝A
- みりん　大さじ2 ｝A
- 塩　小さじ1/2 ｝A
- 昆布　3g
- 黒ごま（好みで）　少々

【作り方】

①餅を1cm角程度に切る。
②米を洗いAの調味料を入れ、炊飯器の2合の線まで水を入れる。
③餅、甘栗、昆布を入れ、通常モードで炊飯する。
④炊き上がったら昆布を取り出して混ぜ、好みで黒ごまを振る。

【1人分当たりの栄養素】

- エネルギー 340kcal
- たんぱく質　6.0g
- カリウム　539mg

栗の栄養

栗は全体的にバランスよく栄養成分を含んでいますが、特にカリウムが豊富で、ナトリウムを排泄する働きがあるため高血圧予防などに効果があります。

また、栗に含まれるビタミンCはデンプン質に包まれているため、加熱しても壊れにくく、効率よく摂取することができます。

広報第10巻　第2号　平成27年12月1日発行(年4回発行)　発行責任者／津島知靖　編集責任者／臼井由行　独立行政法人 国立病院機構 岡山医療センター 医療広報推進室
〒701-1192 岡山市北区田益1711-1　TEL 086-294-9911　FAX 086-294-9255　URL http://okayamamc.jp/　E-mail info@okayama3.hosp.go.jp　印刷：㈱中野コロタイプ

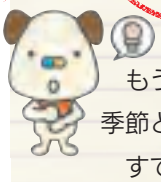
院内活動案内

TOPICS!

日　程	種　　別		内　　容
平成27年12月5日(土)	8:30～12:30	院内災害訓練	・災害対策本部の設置・活動 ・トリアージ ・患者搬送

臨床研究推進室便り

最近、治験に協力して頂いている患者様から『テレビで治験に関する番組を見たよ』などの声をよく聞きます。以前よりも「治験」という言葉が身近になっているようで、私たち治験コーディネーターも嬉しく思っています。



もうすっかり秋ですね。朝晩は心地よい風が吹く季節となりました。

すでにお気づきの方もいらっしゃるかと思いますが6月末より育薬室（本館3階処置センター横）の前に『ちけん君』が登場しました。『ちけん君』は公益社団法人日本医師会治験促進センターが治験を含む臨床試験の啓発・促進等の目的で使用しているキャラクターです。皆様に治験とはどういったものかを知ってもらうために当院ではパンフレットとともにちけん君が活躍しています。

活字ばかりの資料は億劫だな、と思われる方には漫画タイプのパンフレットもありますので是非読んでみてください。そして、治験参加に興味をもった方は治験管理室まで連絡お待ちしております。

新しく始まる治験

- 循環器科領域：冠動脈疾患を合併した心不全の方(継続中)
- 整形外科領域：大腿骨近位部骨折に対する整形外科的治療をされた方(継続中)
- 脳神経領域　：脳梗塞を発症された方
- 血液内科領域：多発性骨髄腫を発症した方
- 代謝内科領域：糖尿病性末梢神経障害に伴う疼痛を発症した方

臨床研究推進室(治験管理室)
TEL:086-294-9519
(平日のみ)
その他、当院実施中の
治験参加に関する
問い合わせも受付しています

※ただし、どの治験にも「参加できる条件」がございますので、参加をお断りする場合もあります。ご了承ください。

編集後記

毎年10月初めにノーベル賞の発表がある。言うまでもありませんが科学分野における世界最高の栄誉であると考えられている。そのノーベル賞受賞者に日本人は2年連続で選ばれた。医学生理学賞の大村智さん、物理学賞の梶田隆章さん。おめでとうございます。極東の小さな国で、日本人よ！よく頑張ったと、誇りに思っている人は多いと思います。日本が今後も発展し、より良い国になることを願っています。（臼井）